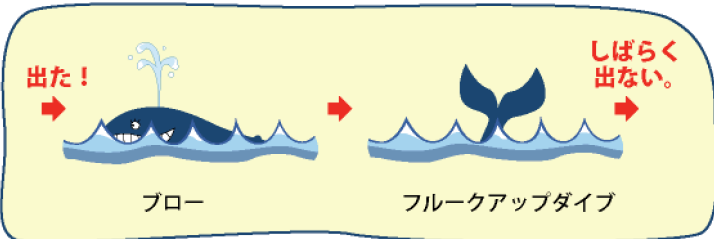




水面から噴き上がるブローを手がかりにクジラを探してみよう。

(水面にはおよそ1～3分間浮上)



大抵は一度浮上すると、およそ10秒～30秒おきに3～6回ブローします。

その後尾びれを上げ潜水(フルークアップダイブ)します。もちろん野生動物なので、必ずしもこの通りではありません。



Blow

ブロー

水面で呼吸する時の噴気です。霧状で3～5mの高さになります。



ブリーチ後に上がる大きな水しぶきも発見の手がかりになります。



Fluke up dive

フルークアップダイブ

長い潜水前に尾びれを上げて潜ります。



Breach

ブリーチ

ジャンプするように飛びだします。



Tail slap

テールスラップ

尾びれを激しく垂直に水面へ打ちつけます。長い胸びれを水面にたたきつけます。



Pec slap

ペックスラップ

ペックスラップ



Peduncle slap

ペダングルスラップ

尾びれを激しく横なぐりに打ちつけます。



Head slap

ヘッドスラップ

頭を水面にたたきつけます。

ザトウクジラとは?

体長12～14m、体重20～30t、大型ヒゲクジラ類の一種です。

夏の間はロシア海域でオキアミや小魚を食べ、冬に繁殖や子育てのために奄美・沖縄海域に來遊します。



2020年3月

- 発行：環境省沖縄奄美自然環境事務所奄美群島国立公園管理事務所
- 制作：奄美海洋生物研究会 ●協力：奄美クジラ・イルカ協会
- 写真：興克樹 木元侑菜 野元純子(空港) ●イラスト：石崎晋

より詳しくは
わきやあまみ14
奄美群島のクジラとイルカ



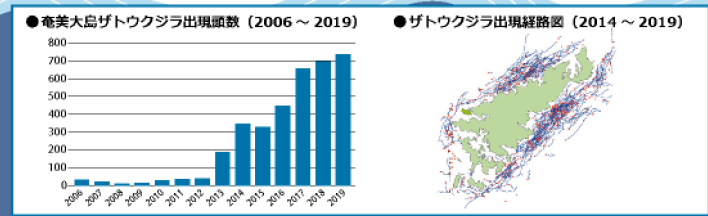
陸から発見！奄美のクジラ。



クジラ 探索マップ GO!

奄美大島周辺海域では毎年1～3月頃になると繁殖や子育てのために多くのザトウクジラが来遊していることが近年の調査で分かりました。船でクジラを観察するウォッチングツアーも人気ですが、実は陸からもクジラを観察できるポイントがいくつもあります。ドライブの途中に足をとめて、クジラを探してみませんか！きっと奄美大島の雄大な自然が体感できるはずですよ。

奄美群島国立公園区域 ※簡略に示しています。
 ホエールロード



※2006年～2013年はカクromaホエールプロジェクト
 2014年は奄美市ホエールウォッチング可能性調査、2015年からは環境省奄美大島周辺海域における鯨類調査等業務の一環で奄美クジラ・イルカ協会の協力のもと調査を実施。ウォッチング船の増加により出現数も増加。島に沿って移動していることも明らかになってきました。

